

様式

## かわごえ市民会議 会議録

会議の名称	市民生活分科会第8回会議
開催日時	平成16年8月7日(土) 午後7時00分 開会 ・ 午後9時20分 閉会
開催場所	川越市役所 本庁舎7階 第5委員会室
出席者(人数)	14人
欠席者(人数)	7人
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 福祉・社会保障について (2) 教育改革について 3 閉 会
配布資料	・ 第二次地域福祉活動計画 ・ 川越市障害者計画 ・ 身体障害者のしおり ・ すこやかプラン・川越 ・ 平成16年 業務運営方針(川越市公共職業安定所) ・ 川越市次世代育成支援対策行動計画策定に係るニーズ調査報告書(概要版) ・ 教育改革に対する提言(委員作成)
議 事 の 経 過	
議題・発言内容・決定事項	
(1) 福祉、社会保障について 障害者福祉に携わっている委員が、川越市における福祉の現状について資料に基づき説明する。 ・ 障害者への差別を無くし、共に生きる社会をつくることが大切である。しかし、障害者への支援は、税金でまかなわれていることから、厳しい財政状況により、その支援の後退が心配される。高齢社会が進む中で、福祉を増進するには、税金にばかり頼らないで行える方向への努力が必要である。 主な意見	

- 障害者も自治会等の事業に参加し、地域に密着した生活を送ることが大事である。
- 限られたお金の中で、いかに知恵を出し合い、助け合い、障害者の自立をはかっていくかが大切だ。
- 社会福祉協議会だけでなく、NPOなどをもっと活用すべきである。
- 社協にも民間活力の導入を検討すべきである。
- 市の予算、社協の予算が有効に使われているかを見直すためにも、市民による監査が必要だ。
- これからの施設は公設民営にする必要がある。
- 現在、いつにも増して「心のケア」が必要になっている。相談できる人がいれば不幸な事件を防げるケースも多い。大宮で「いのちの電話」を設け、365日、24時間体制のボランティアで相談等を行っている。分室を川越にも置きたい。企業にも社会貢献の意味で電話代等、できる範囲で協力してほしい。
- 子育て中の親たちが集まり、輪を作れるような場所が身近にもっと必要。
- 様々な子育て論議がある中で、世代間や個々人の価値観の相違を認め合い、多様な人の知恵や助けを受けながら、豊かな子育てができる環境を作っていく必要がある。

## (2) 教育改革について

- 地域との関わりを持たずに、また持てずに生活してきた「団塊の世代」の企業戦士を地域活動に取り込む事により地域社会のコミュニティ化、地域再生が可能になる。

## 次回の会議日程

- 日時：平成16年8月21日(土)午後7時00分～午後9時00分
- 場所：川越市役所 本庁舎7階 第五委員会室
- テーマ：これまでの会議のまとめ